

《記入例》

6 給与支払報告書(個人別明細書)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------------|--|---------------------|--|-------------------------|--|-------------------------|--|--------------------|--|-----------------|--|--------------|--|----|--|
| ※ | | | | | | | | | | | | ※種別 | | ※整理番号 | | ※ | |
| ※区分 | | | | | | | | | | | | (受給者番号) | | | | | |
| 住所 | | | | | | | | | | | | (個人番号) | | | | | |
| 今治市別宮町一丁目4番地1 ① | | | | | | | | | | | | (役職名) | | | | | |
| 氏名 | | | | | | | | | | | | (フリガナ) | | イマハリ | | ヲウ | |
| 今治 太郎 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種別 | | 支払金額 | | 給与所得控除後の金額(調整控除後) | | 所得控除の額の合計額 | | 源泉徴収税額 | | | | | | | | | |
| 給料・賞与 | | 5 000 000 | | 3 560 000 | | 3 170 000 | | 0 | | | | | | | | | |
| (源泉)控除対象配偶者の有無等 | | 配偶者(特別)控除の額 | | 控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。) | | 16歳未満扶養親族の数 | | 障害者の数(本人を除く。) | | 非居住者である親族の数 | | | | | | | |
| 有 | | イ 310 000 | | ② 老人 1 人 | | ウ 1 人 | | エ 1 人 | | オ 1 人 | | | | | | | |
| 従有 | | | | 特定 1 人 | | その他 1 人 | | 特別 1 人 | | その他 1 人 | | | | | | | |
| ア | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社会保険料等の金額 | | 生命保険料の控除額 | | 地震保険料の控除額 | | 住宅借入金等特別控除の額 | | | | | | | | | | | |
| 内 750 000 | | 105 000 | | 15 000 | | 19 500 | | | | | | | | | | | |
| (摘要) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 前職：(株)〇〇 1,500,000 (社保)98,000 (源泉)9,800 ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 普通徴収 C (令和6年3月31日退職予定) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生命保険料の金額の内訳 | | 新生命保険料の金額 | | 旧生命保険料の金額 | | 介護医療保険料の金額 | | 新個人年金保険料の金額 | | 旧個人年金保険料の金額 | | | | | | | |
| 85,000 | | 30,000 | | 15,000 | | 25,000 | | 120,000 | | | | | | | | | |
| 住宅借入金等特別控除の適用回数 | | 1 | | 居住開始年月日(1回目) | | H28 7 1 ⑤ | | 住宅借入金等特別控除区分(1回目) | | 住(特) | | 住宅借入金等年末残高(1回目) | | 8,000,000 | | | |
| 住宅借入金等特別控除の内訳 | | 80,000 | | 居住開始年月日(2回目) | | | | 住宅借入金等特別控除区分(2回目) | | | | 住宅借入金等年末残高(2回目) | | | | | |
| 源泉特別控除対象配偶者 | | (フリガナ) イマハリ ハナコ | | 氏名 今治 花子 | | 配偶者の合計所得 ⑥ 1,030,000 | | 国民年金保険料等の金額 ⑦ 55,000 | | 旧長期損害保険料の金額 20,000 | | 基礎控除の額 ⑧ | | 所得金額調整控除の額 ⑨ | | | |
| 個人番号 | | 2:3:4:5:6:7:8:9:0:1:2:3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 控除対象扶養親族 | | (フリガナ) イマハリ イチロウ | | 氏名 今治 一郎 | | 氏名 今治 春子 | | 氏名 今治 美子 | | 氏名 | | 氏名 | | 氏名 | | | |
| 個人番号 | | 4:5:6:7:8:9:0:1:2:3:4:5 | | 6:7:8:9:0:1:2:3:4:5 | | 7:8:9:0:1:2:3:4:5:6:7:8 | | 5:6:7:8:9:0:1:2:3:4:5:6 | | | | | | | | | |
| 本人が障害者 | | 乙欄 ⑪ | | 本人が障害者 | | 本人が障害者 | | 本人が障害者 | | 本人が障害者 | | 本人が障害者 | | 本人が障害者 | | | |
| 未成年者 | | 外国人 | | 死亡退職 | | 災害者 | | 中途就・退職 ⑫ | | 受給者生年月日 ⑬ | | | | | | | |
| 個人番号又は法人番号 | | | | ⑭ | | | | | | | | | | | | | |
| 住所(居所)又は所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 氏名又は名称 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(摘要)に前職分の加算額、支払者等を記入してください。

※給与支払報告書(個人別明細書)は受給者1人につき1枚提出してください。

◎留意点

令和5年中に給与の支払があった場合は、雇用形態、金額の多少に関わらず、全て給与支払報告書(個人別明細書)を作成し、提出してください。
 ※事業専従者、令和5年中の退職者及びパート・アルバイト等の方についても同様に作成のうえ提出してください。
 また、本人及び扶養親族の個人番号(マイナンバー)を必ずご記入ください。

- 令和6年1月1日現在の住所について、町名・番地・アパート名・部屋番号等まで詳しく記入してください。また、個人番号(12桁)を必ずご記入ください。(①に記載の住所が住民登録地と異なる場合は、摘要欄に住民登録地を記入のうえ、①に記載の市区町村に提出をお願いします。未記入の場合は、提出後、再確認をお願いすることがあります。) ※氏名は漢字で正確に記入し、必ずフリガナをつけてください。
- (源泉)控除対象配偶者、配偶者(特別)控除の額、扶養親族数、障害者人数等
 - ア 控除対象配偶者がいる場合は「有」に○を記入。
 - イ 配偶者(特別)控除を受ける場合は、控除額を記入。受ける方の合計所得金額によって配偶者(特別)控除の額は変わります。
 - ウ 16歳未満扶養親族の人数を記入。
 - エ (源泉)控除対象配偶者、控除対象配偶者、配偶者特別控除の対象となる配偶者、控除対象扶養親族及び16歳未満扶養親族のうち、国内に住所を有しない方がいる場合に、その人数を記入。
- 摘要欄・・・該当する点について漏れなく記入してください。
 - ア 同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く。)を有する方で、その同一生計配偶者が障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合は、同一生計配偶者の氏名及び同一生計配偶者である旨を記入。(例「氏名(同配)」)
 - イ 中途就職者について前職分給与を含んで年末調整をした場合は、前勤務先の名称・給与額・社会保険料・源泉徴収税額を記入。(※前職が複数ある場合はそれぞれ記入してください。記入されていない場合、前職分が含まれているか確認することができません。)
 - ウ 普通徴収への切替依頼書内の理由により特別徴収できない場合は、「普通徴収」と該当する理由の「略号(A~D)」を記入。
 - エ 留学生など、外国との租税条約に該当する方は、「〇〇条約〇条該当」と記入。
 - オ 海外転勤等で今治市に居住していない方は、出国先および出国予定期間を記入。※合わせて「海外赴任証明書」をご提出ください。
 - カ 退職手当等の支払を受ける配偶者又は扶養親族がいる場合は、その方の氏名、配偶者又は扶養親族である場合にはその旨、生年月日、住所、障害者又は特別障害者である場合にはその旨、国外に居住する非居住者である場合にはその旨及びその方の合計所得金額の見積額(退職所得を除く)並びに納税者が寡婦又はひとり親である場合にはその旨を記載してください。氏名の前には「退」と記載し、「5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号」の欄に記載する個人番号との対応関係が分かるようにしてください。
- 生命保険料・旧長期損害保険料等の支払額を記入してください。(生命保険料の種別等により控除額の計算方法が異なりますので、該当する保険種別を確認のうえ、必ず記入してください。)
- 住宅借入金等特別控除の適用を受けた方は、「居住開始年月日(和暦)」「住宅借入金等特別控除区分(「住」「認」「増」「震)」「住宅借入金等年末残高」「住宅借入金等特別控除可能額」を記入してください。また、税務署長が発行した「年末調整のための(特定増改築等)住宅借入金等特別控除証明書」の居住開始年月日の欄に「(特定)」の記載がある場合には、「(特)」(例：住(特)、認(特))を、「(特別特定)」の場合には、「(特特)」(例：住(特特))と記入してください。
- 配偶者の合計所得金額(見積額)を記入してください。
- 社会保険料控除額に前年中に支払った国民年金保険料等の金額を含む場合は、その金額を記入してください。
- 基礎控除の額が48万円の場合には記入する必要はありません。
- 所得金額調整控除の適用がある場合には所得金額調整控除の額を記入してください。
- 「(源泉・特別)控除対象配偶者」「控除対象扶養親族」「16歳未満の扶養親族」
 - ア 対象とする方の氏名(フリガナ)、個人番号を必ず記入。(国外に居住している方については「区分」欄に○を記入。)
 - イ 控除対象扶養親族が5名以上いる場合には、摘要欄に氏名を記入し、「5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号」欄に対象者の個人番号を記入。※②の人数との整合確認をお願いします。
- 該当する項目に○を記入してください。(ここでいう未成年者とは、平成18年1月3日以後に生まれた方をいいます。)
- 令和5年中に中途就職または退職された場合は、いずれかの欄に○印をつけ、その年月日を記入してください。 ※記入がされていないと退職者でも在職扱いとなり特別徴収の対象になる場合があります。 ※同一年に就職・退職した場合は退職年月日を記入してください。
- 受給者の生年月日(元号については漢字(「明治」「大正」「昭和」「平成」又は「令和」))を必ずご記入ください。
- 「支払者」欄中「個人番号又は法人番号」の欄には、支払者が個人の場合は給与支払者の個人番号(12桁)、法人の場合は法人番号(13桁)を右詰めで記入してください。